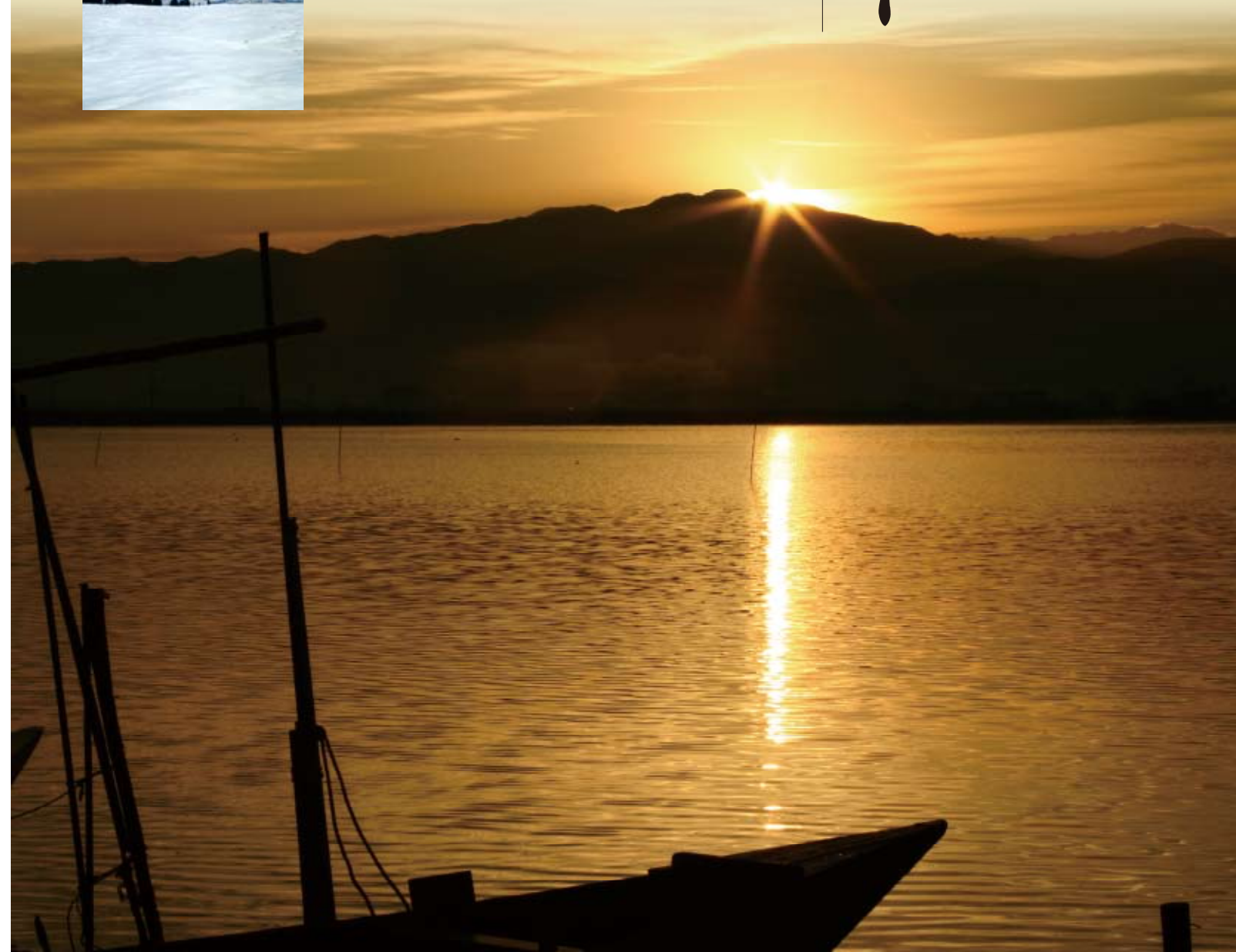


白山眺望 スポットガイド

白山は、たおやかで気高いその姿から、多くの人々に崇敬され、親しまれてきました。平野や水辺、街なか、周辺の山々など、石川県内のいたるところから白山が望まれます。残雪と新緑がまぶしい春から紅葉に染まる秋、そして雪をまとった純白の山肌。自然と文化に彩られ、四季折々の表情を見せる白山に逢いに訪れませんか？



「白山眺望スポットガイド」について

石川県では、「白山眺望景観保全ガイドライン」（平成18年3月）を策定し、白山の眺望景観を守り、育て、活かしていこうと考えています。このパンフレットは、そのひとつとして、県内各地の代表的な白山眺望地点を紹介したものです。ここで紹介した約30地点は、県民の皆様から寄せられた約180の白山眺望箇所を基に、主峰部を中心とした眺望を阻害する建物等がなるべく少ないことに加え、交通のアクセスや公共性、あるいは眺望地点周辺の環境や白山が見える方角、距離などの多様性にも配慮して選びました。なお、近くの類似する地点や徒歩で登る山などは割愛しています。

白山の歴史と眺望

白山は養老元年（717）、越前の修行僧「泰澄」によって開かれたと伝えられています。越前、加賀、美濃などの広い範囲から、初夏にも雪を頂く姿が望まれる白山は、古より「越のしらね」として都人にも知られ、多くの和歌などに詠まれてきました。崇高な山容は神仏の聖地として、また、水の源や航海の目印として人々の信仰を集め、日本三名山のひとつに数えられるようになりました。

白山の自然と眺望

白山は昭和37年（1962）、国立公園に指定されました。また、クロユリなどの高山植物や山腹に広がる日本有数のブナ林とそこに住む多様な動物など、自然性の高さが評価され、ユネスコの生物圏保護区にも指定されています。豊かな自然が守られていることが、白山の眺望景観を優れたものにしていくのです。

方角によって異なる白山の顔

加賀（西北西）から



美川（北西）から



白山スーパー林道（北北東）から



凡例	
●	山頂・山地
●	水辺
●	高台・高い建物
●	田園(集落)
●	街なか

- 表紙写真の撮影地（上から）
 - ・川北町役場付近（川北町）
 - ・宝達山山頂（宝達志水町）
 - ・白山スーパー林道《とがの木台》（白山市）
 - ・西山《白山パノラマ公園》（白山市）
- メイン写真
 - ・白山からの日の出（柴山湯）
- 写真協力
 - 潮津 保、川島志朗



